

平成 30 年 第 5 週(1月29日~2月4日) 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

http://www.pref.nara.jp/27874.htm TEL:0744-47-3183

インフルエンザ警報発令中です!

今週の概要

病原体(ウイルス)検出情報(平成30年1月)

◆定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患)◆

順位	疾患名	劳	良県	北部	中部	南部	
位	大忠石 	定点当たり	(前週)	増減	ՎՄ 🗅 Մ	무마	中中
1	インフルエンザ	45.37	(47.81)	1	1	1	^
2	感染性胃腸炎	4.68	(5.71)	*	→	→	→
3	A群溶連菌咽頭炎	1.97	(2.09)	7	7	→	^
4	RS ウイルス感染症	0.41	(0.68)	←	•	•	4
5	突発性発しん	0.26	(O.38)	→	¥	^	↓

発生状況: 大流行 流行 ゆや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。) 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、7やや増加、→横ばい、4やや減少、↓減少

❖県内概況❖

インフルエンザの流行警報発令中です。県内の全ての地域で警報開始基準値「30」を超えています。過去 10 年で最も患者数が多い状態が続いています。小児では 5~6 歳が最も多く、成人では 40 代が多くなっています。今後流行が拡大し、免疫力が弱い乳幼児や高齢者が感染すると、脳炎や肺炎を起こすなど重症化する事もありますので、乳幼児や高齢者のいる環境へは、持ち込まないようにすることが最重要となります。感染している方は近寄らないようにする事、感染してない方も持ち込まないように人混みを通ったら手洗いを心がけるなど、感染拡大予防を心がけてください。インフルエンザにはアルコール消毒剤が有効です。

♦ 病原体(ウイルス)検出情報(平成30年1月) ♦

*ウイルス分離同定日での集計結果

					•	
検出病原体		北部	中部	南部	その他	臨床診断名
インフルエンザ	AH1pdm09	1	2	2		インフルエンザ(5)
インフルエンザ	AH3	3				インフルエンザ(3)
インフルエンザ	B (山形系統)	1	2	1		インフルエンザ(2)、 インフルエンザ疑(2)
RS			1			肺炎(1)
ライノ		2	1	1		手足口病・無菌性髄膜炎(1) * 、無菌性髄膜炎(1)、発疹症(1)、感染性胃腸炎(1)
エコー	9		1			発疹症(1)
エンテロ	71	1				手足口病・無菌性髄膜炎(1)*
コクサッキー	A10	1				手足口病(1)
ノロ	G II .4		7			感染性胃腸炎(7)
A群ロタ	G3			1		感染性胃腸炎(1)
A群ロタ	G9		1			感染性胃腸炎(1)
単純ヘルペス	1		1			ヘルペス口内炎(1)
水痘・帯状疱疹			1			水痘疑い(1)
サイトメガロ			1			ギランバレー症候群(1)**
ヒトヘルペス	6B		1			ギランバレー症候群(1)**

*、** 重複感染

❖定点把握感染症報告状況❖

					-					
	奈良県	』 北部		中	部	南部				
保健所別報告数	示艮県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野			
インフルエンザ定点数	54	14	14	11	10	2	3			
インフルエンザ	2450	682	576	425	567	74	126			
	(45.37)	(48.71)	(41.14)	(38.64)	(56.70)	(37.00)	(42.00)			
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2			
RSウイルス感染症	14 (0.41)	1 (0.11)	4 (0.44)	1 (0.14)	7 (1.17)		1 (0.50)			
咽頭結膜熱	4 (0.12)	1 (0.11)		2 (0.29)	1 (0.17)					
A群溶連菌咽頭炎	67	5 (0.56)	21 (2.33)	2 (0.29)	32		7 (3.50)			
	159	33	41	30	46	1	8			
 水痘	8	(3.67)	(4.56)	2	(7.67) 1	(1.00)	(4.00)			
	(0.24)	(0.44)	(0.11)							
手足口病	3 (0.09)			2 (0.29)	1 (0.17)					
伝染性紅斑	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)					
突発性発しん	9 (0.26)		2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)					
(百日咳は全数把	握対象	疾患	となり	ました)					
ヘルパンギーナ										
流行性耳下腺炎	3 (0.09)		1 (0.11)	1 (0.14)	1 (0.17)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0			
急性出血性結膜炎										
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)			/			
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1			
細菌性髄膜炎										
無菌性髄膜炎										
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)				1 (1.00)	/	1 (1.00)			
クラミジア肺炎										
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)				1 (1.00)					
在龄别報告数										

平成 30 年 第 5 週 1 月 29 日 ~ 4 日

◆全数把握感染症報告状況◆ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(郡山1)
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 後天性免疫不全症候群1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒2件(郡山1、中和1) 百日咳1件(奈良市)

◆第5週のトピックス◆

- ・麻疹の発生に関するリスクアセスメント第一版(国立感染症研究所) https://www.niid.go.jp/niid/ia/diseases/ma/655-measles/idsc/7800-measles-ra-1.html
- ・風疹および先天性風疹症候群の発生に関するリスクアセスメント第三版(国立感染症研究所)

 $\frac{\text{https://www.niid.go.jp/niid/ia/rubella-m-111/rubella-top/2145-rubella-related/7797-rubella-ra-3.html}{}$

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段:報告数

(下段):定点当たり報告数 報告数:定点数

年齢別報告数

年齡別報告致																							
年齡区分	年齡	0-5M	_	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49		60-69		<i>80</i> -	合計	
インフルエンザ	男女	2 4	9 12	46 38	47 51	61 62	80 80	107 81	96 115	73 84	73 54	66 70	239 213	67 57	43 38	38 67	59 72	49 59	34 49	20 21	4 10	1213 1237	
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-							合計	累計
RSウイルス感染症	男女	3	1	6 2	1	1																10 4	66 60
咽頭結膜熱	男女			2		1	1															2 2	18 13
A群溶連菌咽頭炎	男女	1		1	3	1	1 7	3	6 5		6 1	4 5	4 6		3							29 38	141 130
感染性胃腸炎	男女	1 1	2 1	17 9	10 10	6 9	9 7	5 8	8 4	3 2	4 2	1 1	5 4	2 2	10 16							83 76	427 399
水痘	男女			1		1				3	2 1											3 5	25 34
手足口病	男女		1	2																		1 2	7 8
伝染性紅斑	男女									1 1												1 1	4
突発性発しん	男女		1 4	3	1																	5 4	26 27
(百日咳は全数把	屋対象	疾患	となり	ました)																		
ヘルパンギーナ	男女																						5 2
流行性耳下腺炎	男女					1		1				1										3	6 11
年齡区分	年齡	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-		合計	累計
急性出血性結膜炎	男女																						
流行性角結膜炎	男女													1								1	6 5
年齡区分		0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-					合計	累計
細菌性髄膜炎	男女																						
無菌性髄膜炎	男女																						1
マイコプラズマ肺炎	男女		1	1																		1	2
クラミジア肺炎	男女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男女		1																			1	2 4

❖注目疾患の動向❖全て定点当たり報告数















